

## 2 探そう！気になるいきものたち調査結果

# どこにいるかな？

# 探そう！

# 気になるいきものたち

なかなか出会えないレアな生き物、  
市内での分布状況に注目したい生き物など、

「気になる」生き物を集めた企画です。

今年もたくさんの情報をお寄せいただき、ありがとうございました。

引き続きこれらの生き物たちを気にかけていただけますと幸いです。



発見報告のあった  
メッシュは、  
地図上の該当箇所に  
ピンとメッシュコードで  
示してあります。

19-63



## ホトギス

報告数  
11メッシュ

観察適期：5月～10月

5月下旬頃渡ってくる夏鳥。

カッコウの仲間で、ウグイスなどに托卵  
(自分の産んだ卵を他の個体に育てさせる  
こと)する習性がある。

鳴き声による確認がしやすい鳥。平野部で  
どのような分布があるか注目したい種。

### 調査結果・コメント

メッシュ数は年々減ってきていますが、発見場所はそう変わらないよう  
です。今年は山前地区での発見がありませんでした。  
この鳥は万葉の昔から歌に詠まれ、親しまれた鳥でカッコウの仲間で  
す。市街地でもよく発見されている様ですね。  
夏鳥の代表として来年も観察できるようお願いします。





# ミゾコウジュ

報告数  
2メッシュ



観察適期：(花) 5月～6月

環境省 準絶滅危惧種。市内数か所で確認できる。

シソ科の越年草で、5～6月に淡紫色の小さな唇形花(唇のような形をした花)をつける。この先どのメッシュで増え、また減っているか注目したい種。



## 調査結果・コメント

2021年の8メッシュを最多に前年度は3メッシュ、今年度は2メッシュと確認メッシュは減少しています。

自生地環境の変化が見逃し等なのか、注目種なので推移を見守りたいと思います。田畑のあぜ道や日当たりのよいやや湿った土手の斜面などが見つけやすいと思います。



# ノアザミ

報告数  
7メッシュ

観察適期：(花) 5月～6月

花が晩春から夏(5～6月)にかけて咲き、総苞(花の下の緑色になっている部分)に触るとネバネバしている点が特徴。

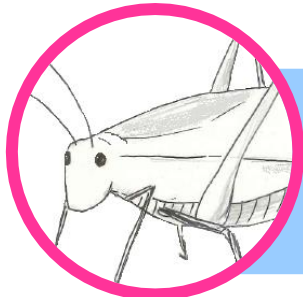
アザミは種類が多いが、この2つの大きな特徴があるので誰でも判別ができる。市内の分布状況に注目したい種。



## 調査結果・コメント

確認メッシュが昨年度の18メッシュから今年度は7メッシュと半数以下に減少しました。特に河南地域は昨年度は5メッシュ確認できましたが、今年度は確認が0になりましたので、次年度は要注目です。

5月～6月に花を咲かせ、総苞が粘っていればほぼノアザミと認めてよいと思います。



# クツワムシ

報告数  
2メッシュ

かんきつてきき あき  
観察適期：8月～秋

げき こんちゆう かわら  
激レア昆虫。かつては河原にたくさんいたが、  
クツワムシが好む草地在なくなり数が激減した。  
れいわがねん ど しな い すうねん せいそく かくにん  
令和元年度に市内で数年ぶりに生息が確認された。  
はね さき まで50mmくらいある大きな虫で、  
ガチャガチャとたいへん大きな声で鳴く。

## 調査結果・コメント

2メッシュで確認されました。これまでの報告から生息地はたいへん  
すくないものと思われまます。足利市には確実に生息している場所があり  
ます。しかし、大型昆虫であることから環境の変化に弱く、いつまでも  
生き続ける場所が残ってほしいものです。



# タガメ

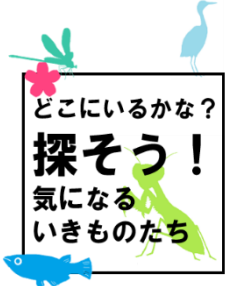
報告数  
0メッシュ

かんきつてきき  
観察適期：5月～9月

くに ぜつめつきぐしゆ ぜつめつきぐ るい  
国の絶滅危惧種で絶滅危惧Ⅱ類。  
たいちよう  
体長45～65mm。メスのほうが一回り大きい。  
せいちゆう ふゆ こ  
成虫で冬を越す。たんぼや池、流れの緩やかな  
水路にいることが多く、夜は明かりにも飛んでく  
る。以前は市内でも見られたが最近の確かな記録は  
ない。レポーターさんのお力で是非見つけて欲しい。

## 調査結果・コメント

ざんねん ほうこく  
残念ながら報告はなかったですが、足利市のどこかに居るような気が  
してなりません。群馬県では板倉町西岡(公民館の灯りに来た)、館林  
市若宮町(水路に居た)、明和町下江黒(水路に居た)、太田市飯田町  
(ガンソリスタンドの灯りに来た)が最近の記録としてあります。  
また、栃木県南では小山市では結構見られるようです。栃木県では  
県央や県北ではたんぼの水路に普通に見られるところが少なからずあ  
ります。灯りやたんぼの水路などが探すポイントです。  
ほうこく ま  
うれしい報告を待っています。







# マシジミ

報告数  
8マッシュユ



かんきつてきき  
観察適期：5月～6月

たんすい かせん すな そこ にまいがい しょくよう  
淡水の河川の砂やどろの底にすむ二枚貝で食用になる。

ふつう、シジミと呼んでいる。

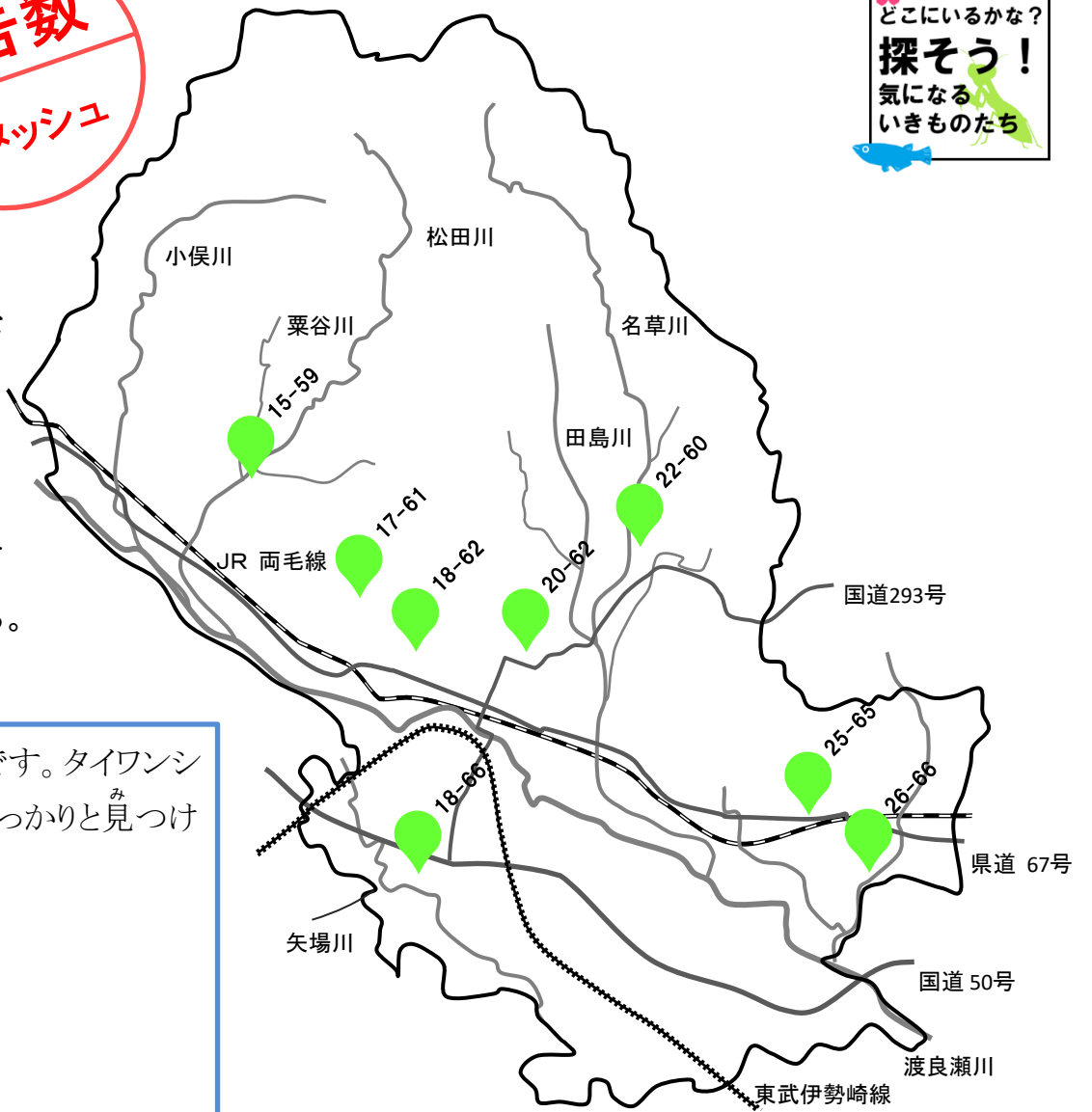
ふる かいがら ちようじようぶぶん しろ  
古くなると貝殻の頂上部分が白くはげ落ちる。

マシジミとよく似たタイワンシジミ種群が侵入して

ぶんぶ かくだい ぜつめつ きき  
分布を拡大しており、マシジミは絶滅の危機にある。

## 調査結果・コメント

はっけん ばしょ ねんねんへんか しょうしょうしんぱい  
発見できる場所が年々変化しているため、少々心配です。タイワンシジミとの区別は難しいので、まずは生きているシジミをしっかりと見つけていけると良いと思います。



# ミズスマシ

報告数  
1マッシュユ

かんきつてきき  
観察適期：5月～9月

えんけい くるいろ ていど こんちゆう  
だ円形でつやのある黒色をした6mm程度の昆虫で、池や沼などのほか、流れの比較的弱い場所に住む。

すいめん しんどう かいてんうんどう  
水面を振動させると回転運動をはじめめる。

ふゆ きし あ かれくさ あいだ どうみん  
冬は岸に上がって、枯草の間などで冬眠する。

みつけるのはとても難しい。

## 調査結果・コメント

はっけんほうこく うれ おも けいぞく せいそくいき かんきよう たいせつ  
発見報告があり嬉しく思っています。継続して生息域の環境を大切に保全していきたいですね。





はんしょく かくにん  
繁殖が確認できる  
す  
ツバメの巣

報告数  
16マッシュ

かんきつてつき  
観察適期：4月～7月

ツバメは人家の軒先や納屋、橋などに泥と枯草等で雄雌協力して巣を作る。巣作り期間は約1週間。

卵を約4～6個産み、卵を温め始めて約2週間で孵化、それから約3週間でヒナが巣立ちを迎える。

ツバメは調査対象種でもあるが、最近では減少が心配されている。

調査結果・コメント

市内全体にまだ巣を作っている様です。  
私の考えでは、巣の数は年々減少してきていると思います。ぜひ巣を見つけたら注視して見守ってください。夏鳥の代表で益鳥です。  
また、他のツバメ(イワツバメ、コシアカツバメ)等の巣もありましたら、報告をお願いします。



「クビアカツヤカミキリ」  
引き続き市内全域で発生中!!

今年度もほぼ市内全域で発見されました。我々も防除に努めておりますが、被害木は累計で2千本以上を超えてしまいました(多くがサクラの被害)。防除への認知度が高まったため、気になるいきものたちの対象から外れていますが、今後も引き続き駆除へのご協力をお願いいたします。皆さんで足利のサクラやウメを守りましょう!



成虫は見つけたら即捕殺! >>

市民ボランティア  
「クビアカみつけ隊」も引き続き募集中!!  
詳しくは下の2次元コードから!

